

参考資料 1 : 日本の国際緊急援助

1. 概要

世界では、大規模な自然災害が頻繁に発生し、多くの命が犠牲になっています。中でも開発途上国の多くは、経済・社会基盤がせい弱であるため、災害が発生した際に十分な救援活動を行えないのが実情です。こうした課題にこたえるべく、日本は被災国政府の要請に基づき国際緊急援助を実施しています。支援には人的、物的、資金援助があり、災害の規模や被災国のニーズに応じて、いずれか、ないしは複数を組み合わせて実施しています。今回は、ブラジル政府の支援要請に基づき、ブラジルリオ・グランデ・ド・スール州の洪水被害に対して、JICA を通じた緊急援助物資の供与を決定しました。今回の緊急援助物資はマイアミにある JICA の緊急援助物資備蓄倉庫から輸送されるものです。



図 JICA の緊急援助物資備蓄倉庫



写真 緊急援助物資

左上：テント、中央上：スリーピングパッド、右上：毛布
左下：ポリタンク、中央下：プラスチックシート、右下：浄水器

2. ブラジルに対する我が国緊急援助実績

我が国は、ブラジルに対し、過去 3 回緊急援助を実施しており、概要は以下の通りです。

<リオデジャネイロ州における洪水被害に対する緊急援助（1988 年）>

1988 年 2 月にリオデジャネイロ州で発生した洪水被害（死者約 200 名、負傷者約 650 名、避難者約 13,000 名）に対して、我が国は調整員の派遣及び医薬品や注射器、注射針、手術用手袋などの供与を行いました。

<ブラジル・アマゾン森林火災に対する緊急援助（2019 年）>

2019 年 1 月以降にアマゾンで発生した約 7 万件の森林火災（前年同期に比べて 8 割増）、消失面積約 2,200k m²（同年 8 月 30 日時点。ブラジル国立宇宙研究所：INPE による発表）に対して、我が国は緊急援助物資（テント、スリーピングパッド）の供与を行いました。

<ブラジルにおける洪水被害に対する緊急援助（2022 年）>

2021 年 12 月にブラジルで発生した洪水被害（死者 20 名以上、負傷者 358 名以上名、避難者 31,300 名以上）に対して、我が国は緊急援助物資（テント、毛布、プラスチックシート）の供与を行いました。



写真 ブラジルで発生した洪水被害に対する緊急援助（2022 年）

左：緊急援助物資、右：供与式の様子

以上